

このとり通信

秋号
2026 No.128

発行日：2026年10月10日 編集：広報委員会 <https://www.hacsw.or.jp/>

「平和」という言葉を大切にしたい

このたび、一般社団法人兵庫県社会福祉士会第34回総会において、引き続き兵庫県社会福祉士会会長を務めさせていただきこととなりました。

本会は、会員一人ひとりが学び、仲間とつながり、支え合う居場所であり、社会福祉士としての実践を支えるプラットフォームです。そして、現場から見えてくる声を社会へ届け、人々の権利と尊厳を守り、誰もが居たい場所でその人らしく暮らせる地域社会を、皆さまとともにつくっていく専門職団体です。



私たちを取り巻く社会は目まぐるしく変化し、時には進むべき道が見えにくくなることもあります。そんな今だからこそ、私は「平和」という言葉を大切にしたいと思っています。

平和というと、戦争のない世界という大きなことを思い浮かべますが、私はもっと身近なところから始まるものだと思います。

自分だけがよければいいのではなく、相手のことを思いやること。自分とは違う考えにも耳を傾けること。おかしいと思うことには「おかしい」と言いながらも、相手そのものを否定せず、みんなにとってより良い道を一緒に考えること。

そんな一つひとつの積み重ねが、人を大切にすることにつながり、優しい社会、平和な社会をつくっていくのだと思います。

福祉は、人の幸せを考えることです。

誰もが居たい場所でその人らしく暮らし、自らの意思で自分の暮らしを守ることができる。そして、困った時には誰かとつながり、支え合うことができる。私たち社会福祉士は、そんな人々の暮らしと権利を守り、地域を支える専門職です。

そして、社会福祉士会もまた、そこに集う一人ひとりを大切にしたいと思っています。

私自身、この社会福祉士会が大好きです。多くの仲間と出会い、学び、支えられてきた、私にとって大切な居場所です。だからこそ、この会を守り、次の世代へつないでいきたいと思っています。

互いを尊重し、安心して意見を交わし、安心して活動に参加できる。そして、それぞれが自分らしく力を発揮し、笑顔で活動できる。

「この会にいてよかった」「兵庫県社会福祉士会の会員であることを誇りに思える」

そんな社会福祉士会を、皆さまと一緒にしていきたいと思っています。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

兵庫県社会福祉士会会長 小椋 智子

目次

● 「平和」という言葉を大切にしたい	1
【報告】	
● 第34回総会ならびに臨時総会を開催しました	3
● 2026-2027年度 理事・監事 就任のお知らせ	4
● 2026年度理事会開催報告（4月～8月開催分）	5
● 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 青森大会	7
【お知らせ】	
● ソーシャルワーカーデー 2026、開催中	9
【報告】	
● 2026年度ばあとなあ兵庫全体会	10
● 岡山刑務所参観	11
● ナイトカフェ	12
● 兵庫県社会福祉士会丹波地区ブロック研修会および交流会	13
● 独立型社会福祉士開業セミナー	14
● 倫理綱領伝達研修をしました！！	15
【ブロックインフォメーション】	
● 神戸ブロック	16
● 阪神ブロック	17
【委員会インフォメーション】	
◆ ソーシャルワーク研究委員会	18
◆ 地域包括支援センター支援委員会	19
◆ 独立型社会福祉士支援委員会	19
【お知らせ】	
● 委員会見学申込書	21
● Team-G 73号	23
● 防災いいな 10号	25
【研修案内等】	
● 2026年度下半期入会キャンペーン	28
● 2026.11.1 東播ブロック 第6回集い場リアル！BBQ交流会	29
● 2026.11.17 障害者虐待対応力向上研修C	30
● 2026.11.20 阪神ブロック 教えて！先輩！！	31
● 2026.12.12 阪神ブロック 夜の集い場	32
● 2026.12.21～ 災害支援活動者養成研修（単位取得）	33
● 2027.1.9 実践発表会	37
● 2027.1.23-24 未成年後見人養成研修	38
● 令和8年熊本地震活動支援金募集について	40
※ 各研修につきましては、最少催行人数に達しない場合、中止することがありますので、予めご了承くださいませ ようお願い致します。	
■ 自然災害による中止及びその告知について 研修開始の2時間前に研修開催場所に特別警報が発令された場合は、研修会を中止いたします。また、特別 警報の発令に関わらず、台風接近や自然災害の状況をみて、研修会をやむを得ず中止する場合がありますので ご了承ください。 基準等は、本会ホームページをご参照ください。 https://www.hacsw.or.jp/ 研修開催の中止が決定した場合は、研修開始2時間前に本会ホームページ、または本会ホームページ下部に あるFacebookに掲載します。掲載がなければ開催するものとご理解ください。	

第34回総会ならびに 臨時総会を開催しました

兵庫県社会福祉士会事務局

第34回総会の開催概要

一般社団法人兵庫県社会福祉士会の第34回総会が、6月27日に兵庫県福祉センターで開催されました。

議決権は、会場参加：48名、委任状：1,151名、書面表決：35名の合計1,234名でした。会員総数1,943名の過半数である972名を上回り、総会開催要件を満たしていることが確認されました。

議事は、議長に選出された池田博文会員によって進行されました。

審議された議案と結果

詳細につきましては、会員専用ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

臨時総会の開催概要

一般社団法人兵庫県社会福祉士会の臨時総会が、8月30日に兵庫県福祉センターならびにオンラインで開催されました。

議決権は、会場参加：39名、オンライン参加：58名、委任状：964名、書面表決：55名の合計1,116名でした。会員総数1,948名の過半数である975名を上回り、総会開催要件を満たしていることが確認されました。

議事は、議長に選出された谷口智昭会員によって進行されました。

審議された議案と結果

詳細につきましては、会員専用ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。



臨時総会の様子

2026-2027年度 理事・監事 就任のお知らせ

第34回総会にて、本会の新しい理事・監事が選任されましたのでご紹介します。

任期 2026年6月27日～2028年6月の決算総会まで

【会員理事】 定数13～17名（定款23条）

	氏 名	勤務先名称	現住所地
会長	小椋 智子	社会福祉法人ゆたか会	神戸市
副会長	榎本 昌起	えのもとソーシャルワーク事務所	神戸市
副会長	段 真奈美	医療法人社団 西宮回生病院	芦屋市
副会長	福田 崇徳	ひょうご発達障害者支援センタークローバー上郡ランチ	上郡町
理事	岡本 和久	神戸市こども家庭センター	西宮市
理事	寺田 順一	社会福祉法人揖南福祉会 サルビアの家	姫路市
理事	福井 良江	神戸市教育委員会 事務局	姫路市
理事	永田 三輪	社会福祉法人成晃会 ポート愛ランド。老健	神戸市
理事	藤井 真人	宝塚市社会福祉協議会	猪名川町
理事	森保 純子	森のすず社会福祉士事務所	明石市
理事	近藤 健太	神戸市役所（更生センター）	西宮市
理事	中尾 美隆	西日本プロパティーズ株式会社 ディアージュ神戸	明石市
理事	前川 雅彦	社会福祉法人きらくえん 尼崎市武庫東地域包括支援センター	尼崎市
理事	高木 裕佳	社会福祉法人明石恵泉福祉会 介護老人保健施設恵泉	神戸市
理事	岩木太一郎	キクヤ株式会社 葬祭部	丹波篠山市
理事	松元奈津美	兵庫県教育委員会 但馬教育事務所	豊岡市
理事	古家 英敬	兵庫県立西宮総合医療センター	洲本市

【会員監事】 定数2名（定款23条）

	氏 名	勤務先名称	現住所地
監事	塩尻 点	社会福祉法人くすのき会 播磨園	上郡町
監事	土谷 長子	皇學館大学	尼崎市

理事の辞任のお知らせ

理事でありました岡本和久氏、近藤健太氏につきましては、8月30日に辞任届が提出され、理事を辞任されました。

2026年度理事会開催報告（4月～8月開催分）

第1回 理事会

日時：2026年4月11日（土）13：30～17：30 場所：兵庫県福祉センター202会議室

議長：小椋会長 議事録署名：小椋会長・塩尻監事 出席12名 事務局2名

承認事項〈全承認〉 ①2026年度に向けた組織運営体制と役割分担について⇒方向性の承認 ②入会者（32名）・退会者（33名）・2025年度第12回理事会議事録 ③日本社会福祉士会 実習指導者講習会検討プロジェクトチームメンバーの委員継続（永田理事） ④兵庫県福祉サービス運営適正化委員選考委員会委員推薦依頼（中山次長） ⑤神戸市消費生活審議会委員推薦依頼について（加戸会員） ⑥虐待検証第三者委員会委員推薦依頼（大庭会員） ⑦災害福祉支援委員会 委員長交代（高岡会員が新委員長） ⑧苦情解決委員会 委員交代（外部委員の交代） ⑨出張旅費規程改正 ⑩講師料等支払規程改正 ⑪2026年度スーパーバイザー養成研修受講推薦

審議事項 ①第34回総会⇒総会の講演を西川理事に打診する。総会の形式は会場参加のみ（承認） ②生涯研修センターについて：基礎研修の理事配置、当日役割の整理（承認） ③ソーシャルワーカーデー2026事業計画ならびに予算について（承認） ④2025年度兵庫社会福祉セミナーの赤字補填32010円（承認） ⑤兵庫県規制改革推進会議 規制改革に関する提案 関係団体への依頼について（説明のみ） ⑥キントーン&トヨクモ連携サービスの利用について（承認） ⑦委員会からの審議依頼について ・国家試験対策委員会事業見直し案「伴走型支援事業（オンライン自習室）」（承認）・独立型社会福祉士委員会事業案「困りごとプロジェクトの課題へのソーシャルアクションとしての行政機関等へのアプローチ」（報告のみ）・広報委員会:XとInstagramのアカウントの取得、Canvaアカウント導入（承認） ⑧日本社会福祉士会「正会員に対する活動助成」について「会活動のガイドブック作成」を申請（承認） ⑨第33回総会における第2号議案及び第1号報告の質問への回答（承認） ⑩賛助会員について（継続審議） ⑪組織力向上について（報告のみ）

第2回 理事会

日時：2026年5月10日（日）10：00～14：10 場所：Zoom

議長：小椋会長 議事録署名：小椋会長・塩尻監事・土谷監事 出席17名 事務局2名

承認事項〈全承認〉 ①入会者・退会者・会費2年以上未払者の会員資格喪失・第1回理事会議事録 ②日本社会福祉士会 基礎研修プログラム検討プロジェクトメンバーの委員継続（土谷監事）

審議事項 ①第34回総会についての説明資料（承認） ②個人情報関係者への提供についての同意について（承認） ③会計システムの構築（承認） ④県社協政策提言についての提案（承認） ⑤生涯研修センターについて（報告のみ） ⑥監査結果について（報告のみ） ⑦消費税についての報告事項（承認） ⑧事業所向けパッケージ研修について（報告のみ） ⑨法人賛助会員について、会員価格で研修を受講できるという項目を特典から外す（承認） ⑩今年度の組織運営体制と役割分担について（情報共有） ⑪社会福祉セミナーについて（継続審議）

第3回理事会

日時：2026年6月13日（土）13：30～17：00 場所：福祉センター202会議室

議長：小椋会長 議事録署名：小椋会長・塩尻監事・土谷監事 出席12名 事務局2名

承認事項〈全承認〉 ①入会者・退会者について ②未成年後見小部会における法的助言提供についての弁護士との契約 ③受託事業の研修にかかる謝金等の金額設定 ④兵庫県精神保健福祉士協会と兵庫県社会福祉士会との定期連絡会議の開催

審議事項 ①理事の役割分担について（継続審議） ②第34回総会における消費税納税の説明（承認） ③地域生活定着支援センター事業の受託について（継続審議） ④社会福祉協議会からの助成について（説明のみ） ⑤事業所向けパッケージ研修について（継続審議） ⑥2027年度 事業計画及び予算作成についてのスケジュール（承認） ⑦会計の定期チェックについて（承認） ⑧神戸市介護認定審査会委員、西宮市介護認定審査会委員について（承認） ⑨来年度の国家試験対策講座の近畿ブロック合同開催について（継続審議）

第4回 理事会

日時：2026年6月29日（月）19：30～22：00 場所：Zoom

議長：小椋会長 議事録署名：小椋会長、塩尻監事 出席17名 事務局2名

審議事項 ①榎本理事、段理事、福田理事の副会長選任について（承認） ②理事の役割分担について（承認） ③前期における本会の課題整理（消費税）について小椋会長と榎本副会長が調査にあたる（承認）

第5回 理事会

日時：2026年7月12日（日）9：30～13：15 場所：Zoom

議長：小椋会長 議事録署名：小椋会長、塩尻監事 出席：16名 事務局2名

承認事項〈全承認〉 ①入会者・退会者

審議事項 ①近畿ブロックのメーリングリストメンバー（承認） ②理事の役割分担（承認） ③各委員会のヒアリングについて（報告のみ） ④消費税の件について（継続審議）

第6回 理事会

日時：2026年8月8日（土）13：30～18：00 場所：兵庫県福祉センター202会議室

議長：小椋会長 議事録署名：小椋会長、塩尻監事 出席：17名 事務局2名

承認事項〈全承認〉 ①入会者・退会者・第2回～第5回理事会議事録、第34回総会議事録

審議事項 ①事業所向けパッケージ研修について（継続審議） ②国家試験当日のパンフレット配布・2027年度合格祝賀会（確認のみ） ③日本社会福祉士会 会長会議テーマについて（情報共有） ④淡路市事故調査委員会について（承認） ⑤各委員会のヒアリングについて（確認のみ） ⑥2026年度スーパーバイザー養成研修の推薦（承認） ⑦延滞税の自主的な補填、税理士の契約解除（承認）

臨時理事会

日時：2026年8月23日（日）9：00～12：00 場所：事務局会議室、Zoom

議長：小椋会長 議事録署名：小椋会長、塩尻監事 出席：14名 事務局2名

審議事項 ①臨時総会当日配布資料について内容の確認（承認） ②顧問税理士の契約を終了する方向性、後任の顧問税理士についての人選開始（承認） ③臨時総会当日の役員の出欠、議長候補者の選任、役割分担（確認）

臨時理事会

日時：2026年8月26日（水）19：00～21：40 場所：Zoom

議長：小椋会長 議事録署名：小椋会長、塩尻監事 出席：14名 事務局2名

審議事項 ①8月30日臨時総会の当日配布資料、進行、事前質問への回答内容（確認） ②顧問税理士への追加調査内容（確認）

第34回

日本社会福祉士会全国大会・ 社会福祉士学会 青森大会

本会会員の口頭発表、ポスター発表が採用されました

兵庫県社会福祉士会事務局

第34回を迎えた日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会が、青森県青森市で7月4日、5日に開催されました。テーマは「『共に生きる社会』をつくる社会福祉士～じゃわめぐ未来へ「わ」と「な」をつなぐ～」。

会場となった「リンクステーションホール青森」には、全国から約1,000名以上の参加者が集まりました。

1日目は行政講演、基調講演、シンポジウム、懇親会が開かれました。



2日目の午前中の社会福祉士学会では口頭発表とポスター発表が開かれ、先駆的な研究や実践に触れる学びの場となりました。

午後は、ねぶた作家の竹浪比呂央氏の記念講演、そして閉会式が行われ、青森県社会福祉士会の納谷会長から来年の開催県となる奈良県社会福祉士会の西田会長へとバトンが渡されました（全国大会の詳細については、9月に発行された日本社会福祉士会ニュースNo.221をご参照ください）。本号では、ポスター発表に採用された調査研究委員会有志からの寄稿文を掲載します。

来年は「奈良大会」（2027年7月3日・4日開催）

発表申込は11月1日（日）から始まる予定です。締め切りは、2027年1月31日（日）予定となっています。会員の皆さんの実践をぜひ「言語化・見える化」してください。このことによって、国や社会への社会福祉実践のアピールにつながり、については制度・サービスをより良いものにする一助になります。

ふるってご応募ください。

日本社会福祉士会ホームページ 全国大会／社会福祉士学会
<https://www.jacsw.or.jp/csw/zenkokutai/>

ポスター発表「実践発表会の取り組みから」

報告者 森保 純子

ポスター発表者 竹森 美穂 他4名

2026年7月4日・5日、青森県で「第34回日本社会福祉士会 社会福祉学会 青森大会」が開催され、調査研究委員会の有志メンバーが「兵庫県社会福祉士会による会員の実践研究支援」をテーマにポスター発表を行った。

兵庫県社会福祉士会では、調査研究委員会が、会員の実践を研究につなげるための支援の一環として、毎年、実践発表会を開催している。今回のポスター発表では、昨年度の実践発表会で実施したワークショップの取り組みを中心に、会員が実践研究に取り組むための支援について、その成果と課題を報告した。大勢の人にポスターの前に来ていただき、写真を撮っていただいたり、質問をしていただいた。多くの方が研究の支援に大きな関心を寄せられていた。

実践発表会は今後も継続して開催する予定である。今回の発表は、実践から研究へ、そして研究の成果を再び実践へとつなげる「学びの循環」を、会員の皆さまと共に進めていくための今後のあり方を考える機会となった。

実践を振り返り、新たな実践へ

全国大会で発表する意義は、研究や活動の成果を全国各地から集まった社会福祉士に伝えられることに加え、各地から寄せられたポスター発表や会場発表を見聞きし、新たな知見を得られることにある。今回の参加を通じて、私たちの活動の成果を広く伝えることができた。

近年、実践発表会はZoomで開催しており、全国各地から参加できる。今回の発表が、今後の参加者の増加や交流の広がりにつながることを期待している。

また、全国大会は研究成果を発表し、学び合う場であるだけでなく、懇親会などを通じて、久しぶりに仲間と再会できる場でもある。こうした交流は、社会福祉士として活動が続けるうえで、モチベーションを高めることにもつながる。

調査研究委員会一同、青森大会で得た学びやつながりを今後の活動に生かし、次回の奈良大会でも発表できるよう、委員会活動に取り組んでいきたい。一緒に歩む仲間募集中！



説明する竹森氏

ソーシャルワーカーデー2026、開催中

兵庫県社会福祉士会事務局



例年、海の日をソーシャルワーカーデーとし、全国各地でソーシャルワーカーの仕事や役割について知ってもらうイベントなどが開催されています。（詳細については、日本社会福祉士会ホームページ <https://www.jacsw.or.jp/information/SWday.html>）をご覧ください。

今年度のソーシャルワーカーデーは、兵庫県福祉人材センターが県内7か所で開催する就職説明会にブース出展をしています。

福祉分野での仕事を希望している方に、資格取得方法の説明や各職能団体の紹介をします。

また、ソーシャルワーク関係5団体（介護福祉士会、精神保健福祉士協会、介護支援専門員協会、医療ソーシャルワーク協会、社会福祉士会）で作成した冊子『「よりよい」のプロになる』や、各団体の紹介リーフレットや入会案内もお配りしています。

みなさまの周りで、福祉分野で仕事を希望されている方がおられましたら、ご案内していただけると幸いです。

日程・会場は下記のとおりです。



詳細は下記URL もしくは二次元コードでご確認ください。

<https://hyogowel-fukushigosetu.com/>



日 程	時 間	会 場
7月4日(土) 終了	10:00～13:00 14:00～17:00	神戸国際会館セミナーハウス
7月26日(日) 終了	13:00～16:00	豊岡市民プラザ多目的ホール
9月12日(土) 終了	13:00～16:00	西宮市フレンテホール
10月4日(日) 終了	13:00～16:00	宝塚市立文化施設ソリオホール
10月12日(月・祝)	13:00～16:00	洲本市文化体育館第1会議室
10月18日(日)	13:00～16:00	あかし市民広場
11月3日(火・祝)	13:00～16:00	アクリエ姫路4階会議室

2026年度ぱあとなあ兵庫全体会

ぱあとなあ兵庫 樹下 和幸

開催日 2026年6月10日 13:30～16:30
 参加人数 250名（会場74名 オンライン176名）
 開催方法 Zoomによるオンライン及び会場
 講師 最近の動向：ぱあとなあ兵庫 米田直人委員長
 講演Ⅰ：神戸家庭裁判所 鳥生雅代主任書記官、黒木正俊書記官
 講演Ⅱ：ぱあとなあ兵庫運営委員 榎本昌起副委員長、
 研修部会〈土井、松崎、荻野、樹下、宇根、下田（進行）〉

研修概要

委員会・家裁と個人会員をつなぐ

13:30 開会・挨拶 司会進行（下田）
 13:40～14:00 ぱあとなあ兵庫の最近の動向（米田委員長）
 14:00～14:50 講演Ⅰ 「後見活動の現状、家裁からの最新情報、社会福祉士に期待すること」（神戸家庭裁判所書記官）
 15:00～16:30 講演Ⅱ 「私たちの後見活動と一緒に振り返ってみませんか？ ～成年後見活動の手引き 2025年9月改訂版より～」ぱあとなあ兵庫・研修部会
 16:30 閉会挨拶

所感等

テーマは「後見活動の振り返り」

ぱあとなあ兵庫の総会にあたる本研修は、毎年6月に開催されています。会員にタイムリーな情報を提供したり、遵守すべき内容をお伝えしています。

最初に、ぱあとなあ兵庫の2025年度における受任件数などの活動状況・動向について実績報告や各エリアでの研修等実績、運営体制などについて丁寧なご説明がありました。

講演Ⅰは、神戸家庭裁判所後見支援センターより、益々の件数増加のなかで、ご本人にとって尊厳ある本人らしい生活が行えるよう専門的知識に基づいた事務の遂行を求められており、専門職後見人等に期待されていることが理解できました。

講演Ⅱは、2025年に制作しました『成年後見活動等の手引き』第2版をもとに、すでに受任されている方も、これから受任される方も、“迷いやすいところを減らす”ことを目的に、ぱあとなあ会員として押さえておきたい実務のポイントを整理して説明いただきました。



岡山刑務所参観

更生支援委員会 委員 岡村 恵子

開催日 2026年7月6日

参加人数 24名

開催方法 会場での実施

研修概要

充実の施設参観と懇親会

岡山刑務所職員より施設の概要等の説明を受けた後、居室や風呂場、工場（作業場）など施設内を参観しました。最後に、岡山刑務所勤務の社会福祉士から福祉的な取り組みについて説明を受け、活発な質疑応答が行われた。参観後には刑務作業で作った製品の販売があり、備前焼や革製品など購入しました。

懇親会は岡山駅近くの居酒屋で行いましたが21名の参加があり、実用的な意見交換と楽しい懇親の時間を持ちました。また、2026年2月22日に当委員会でフォレンジック・ソーシャルワーク研修を岡山から講師を招いて開催しましたが、その折の講師が懇親会場に「きびだんご」のおみやげを持って現れるサプライズもあり、再会を喜び合いました。

所感等

岡山刑務所見学を終えて

岡山刑務所は岡山市郊外ののどかな風景の中にある収容人数800名を超える施設です。初犯で刑期10年以上の重罪を犯した男性受刑者を収容しています。

この度、この刑務所を参観して、一番心に残ったのは、無期懲役受刑者の多さでした。人生の大半をこの場所で過ごすとは、どのような時間なのでしょう。

この刑務所には、強盗殺人などの重大事件で服役している人も多いのです。なぜ人は、その一線を越えてしまうのでしょうか。罪とはなのか、罰とはなにか。見学を終えても、簡単に答えが出ないまま今もざらざらとした感覚が心に残っています。

備前焼職人のように、刑務作業で、ろくろを回す受刑者は穏やかな表情を見せていましたが、そこには確実に被害者が存在しているという動かすことの出来ない事実があります。

人間や社会、そして刑罰の現実について、これからも考え続けたいと思う見学会でした。



ナイトカフェ

阪神ブロック 前川 雅彦

開催日 2026年7月11日
参加人数 30名
開催方法 Zoomによるオンライン及び会場
講師 不破 一浩氏（東漸寺住職 社会福祉士）

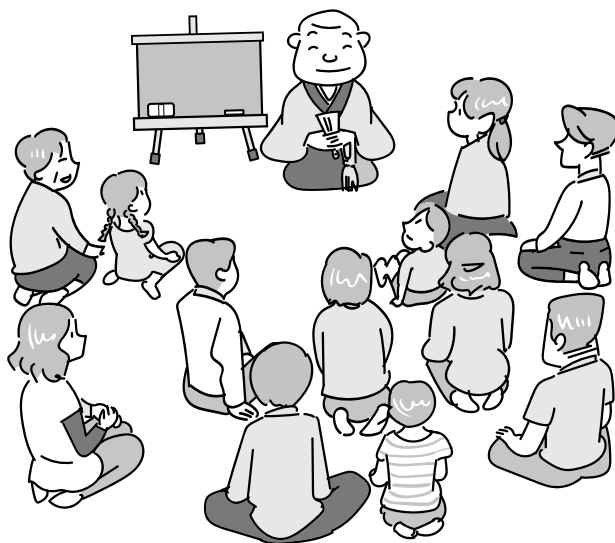
所感等

禅、瞑想を通じて大切なこと

住職でもあり、社会福祉士でもある不破氏の話は、仏教の話でありながら、相談援助の話にもつながり、とても興味深い内容でした。禅の考え方は、私たちの生き方、考え方、人との接し方につながるものであり、ソーシャルワークの中でも大切な実践がこめられていました。参加している皆さんが画面越しではありましたが、ウンウンとうなづいているのが印象的でした。

ナイトカフェでは日常の業務や生活の中では接点がないような方が話し手で来られることがあります。Zoom開催なので自宅からお気軽に参加できます。ちょっとのぞいてみて下さい。思いがけない出会いがあるかもしれませんよ。

「こんな人の話を聞いてみたい」というリクエスト、「この人の話をぜひ聞いて」という推薦也大歓迎です。



兵庫県社会福祉士会

丹波地区ブロック研修会および交流会

丹波ブロック 菅村 友佳

開催日 2026年7月18日10:00～

参加人数 13名

開催方法 会場での実施

講師 川崎 昌代氏（ぱあとなあ兵庫柏原エリア会員）

平岡 瑞姫氏（社会福祉法人丹波市社会福祉協議会）

研修概要

社会福祉士が活躍する職場紹介および交流会

丹波地区で活躍する社会福祉士を講師としてお招きし、日々のソーシャルワーク実践を紹介してもらいました。

研修会後は交流会を開催しました。年齢や職種の垣根を超え、互いの仕事やプライベートまで、美味しいお肉を食しながら情報交換をしました。

所感等

社会福祉士のやりがい

成年後見人として職務に従事している方は、社会福祉士をはじめ専門職同士のコミュニティにより仲間と一緒に成長できる安心感ることや、学びを活かすことでスキルアップできた時、やりがいにつながると話されました。一方、社会福祉協議会で職務に従事している方は、子どもから高齢者まで、全ての世代に少しずつ関わることや、住民と一緒に地域を創るプロセスが、やりがいにつながると話されました。社会福祉士のやりがいに関するお二人の話は、他の会員にも大きな共感を呼びました。



独立型社会福祉士開業セミナー

独立型社会福祉士支援委員会 樹下 和幸

- 開催日 2026年8月11日
参加人数 41名
開催方法 会場での実施
講師 1) 兵庫県社会福祉士会 独立型社会福祉士支援委員会
委員長 樹下和幸氏
2) 長久会計事務所 会計事務 浅野友樹氏

研修概要

- 13:30～14:50 開会挨拶（樹下委員長）、樹下氏講義「開業までに何をすればよいか～準備から収益化まで」
15:00～16:10 浅野氏講義「事業経営の基礎知識（会計編）」
16:10～16:45 グループワーク
16:45～17:00 グループワーク発表
17:10 閉会挨拶（原田副委員長）
17:15～18:00 個別相談会（7名より相談あり）

所感等

独立開業の要点とモチベーションup！

後見活動と法人格を取得して事業展開されている講師、講師が代表を務める会社の顧問会計事務所の方から開業にあたっての会計事務の話も聞けました。また、開業にあたり「学びたいこと」「不安なこと」「事前質問」に対しての書面回答があり、要点を整理することができました。

独立開業にあたっては、収入の安定性や開業資金・運営費、税金や社会保険、事務手続きへの不安、知識や経験の不足、個人で業務を行う際のリスク、困ったときに相談できる体制や専門職との連携についても懸念や、成年後見制度の改変による報酬への影響、事業として継続できるか、生活できるだけの収入を得られるかといった将来への不安も挙がっていました。

しかし、「独立型社会福祉士」は、現代社会が抱える様々な課題に対して、独自の視点・連携・責任で対応し、自由な裁量をもって支援できるため、伴走型支援に向いていると思いました。基礎知識を得る講義、参加者間でのグループワーク、個別相談と充実した時間になりました。



倫理綱領伝達研修をしました！！

生涯研修センター担当理事 古家 英敬

2026年8月23日（日）、兵庫県福祉センターにて、今年度はじめての倫理綱領伝達研修を行いました。今回、講師として講義と演習を担当させていただきました。当日は24名にご参加いただきました。参加された皆さま、休日の暑い中、ご参加いただき本当ありがとうございました。

講義としては主に、1、倫理綱領の構成要素、2、倫理綱領の機能、3、なぜ専門職倫理が必要なのか、4、倫理綱領を活用する時はいつか、についてお話ししました。また、演習では、組織・職場に対する倫理的責任の項目について事例を交えて個人ワークとグループワークを行いました。

また今回の研修の最後には、職場の職員との不健全なコミュニケーションがあった場合に大事にしたいアプローチやコミュニケーションについて、「信念対立解明アプローチ」「非暴力的コミュニケーション」を紹介させていただきました。みなさまにも情報提供させていただければと思います。

<信念対立解明アプローチについて>

「信念」とは「思考、感情、認識、行動の総体、経験を通して確信した事柄全般」であり、「信念対立」とは「世界観の確執」を言うようです。またこの信念対立は自分と他人の間だけでなく、自分自身の中にもあると言われています。例えば患者さんのために働きたいけど、職場に貢献したいといういわゆるジレンマの部分です。その自分の中の信念対立が続く（ストレス状態が続く）場合は、普段の判断能力が鈍ったり、仕事・遊び・日課・休息を適切に行えない状態になると言われています。そうならないために自分自身としては感情調整スキル（マインドフルネス、呼吸を整える、気持ちを整える、など）をつけることが大事になります。そして自分と他者との間での信念対立解明アプローチに必要なコミュニケーションは、①「状況」を確認する、②自分と他者の「目的」を確認する、③自分と他者の「情報（信念の背景）」を共有する、④「共通目標」を立てる、ことが大事だと言います。問題を「解決」するのではなく、トラブルそのものを「解明」していくというスタンスが大事です。

<非暴力的コミュニケーションについて>

これは、どちらか一方の正しさを証明するのではなく、互いの感情やニーズを大切にしながら、両者ともに願いを叶えることを目指すものです。具体的どうすれば良いかについて以下に記載します。

【観察】：主観を取り払い、何が起きているかをありのままに見ること。「相手は怒っている」は実は自分の印象に過ぎないかもしれない。相手を評価せず、状況や事実を把握することが最初のステップです。【感情】：大人になると、感情を抑えて話すようになり、怒ったり泣いたりしてネガティブな感情を出すことは良くない、と認識している人も多いです。しかし、自分のニーズを知ることができるため、感情（自分の感情を覚知すること）はとても大切です。【ニーズ】：自分が何を大切にしたいか。ニーズを言葉にして伝えることは、実りあるコミュニケーションにつながります。例えば、「報・連・相」が苦手な部下に「社会人として未熟だ」と叱責するよりも、「相談してほしかった」「一緒に考えたかった」と自分のニーズを伝えたいほうが、相手から共感を得やすくなります。【リクエスト】：明らかになったニーズを叶えるために相手にしてほしいことを伝えることです。ただし、ニーズを押し付けたり、強要したりしてはいけません。相手の感情や相手のニーズにも意識を向ける必要があります。

みなさん、日頃から相反する複数の大事なことがある中で、たくさんのジレンマを抱えながら業務をしていると思います。その中で、よりbetterな方向性を導き出すためにも是非とも倫理綱領・行動規範を活用していただければと思います。また、このような研修に是非ともご参加いただければと思います。どうか皆さん自身が、クライアントの幸せのために、心身ともに健康で居続けられますように。

神戸ブロック

ブロック長 中尾 美隆

【活動報告】

- 6月22日 Zoom 定例役員会
- 7月27日 Zoom 定例役員会
- 8月24日 Zoom 定例役員会
- 9月3日 Zoom 勉強会 支援者による元気なうちの終活サポート
- 9月28日 Zoom 定例役員会

9月3日は神戸市社会福祉協議会権利擁護部終活支援担当課長 足立真之助様を講師にお招きし、『支援者による元気なうちの終活サポート』についてお話ししていただきました。年々多様化・複雑化する身寄りのない方や単身高齢者からの「終活」に関する相談について、私たち社会福祉士がどのように支援できるか、活用できる制度等について考え・学ぶ機会となりました。

毎月、第4月曜に定例で役員会を実施しています。

【今後の予定】

- | | | |
|--------|------------|-----------|
| 10月26日 | Zoom | 定例役員会 |
| 10月31日 | デュオ神戸採光ドーム | まちかど相談会 |
| 11月22日 | 神戸市立広陵小学校 | 地域ふれあいまつり |
| 11月23日 | Zoom | 定例役員会 |
| 12月28日 | Zoom | 定例役員会 |

今後、勉強会・見学会等を実施予定です。ひよこメーリングリストまたは神戸ブロック Facebook・時期によって次回このとり通信にてお知らせ予定です。ご確認くださいませようお願いいたします。

【お知らせ】

- Facebook(フェイスブック)しています。 検索：兵庫県社会福祉士会神戸ブロック
- 神戸ブロックへのご意見などは kobe.block.fukushishikai@gmail.com までお寄せください。
- 聞いてみたい勉強会テーマがありましたら、上記の神戸ブロックメールアドレスまでお知らせください。

阪神ブロック

ブロック長 前川 雅彦

【活動報告】

5月24日	尼崎市内（対面）	役員会（新年度予定／総会の確認）／総会
6月25日	オンライン	学習会（マインドフルネス講座）18名
6月28日	尼崎市	ヤングケアラー居場所 子ども10名
7月11日	オンライン	ナイトカフェ（禅、瞑想を通じて）30名
7月15日	オンライン	役員会（2026年度事業の検討）
8月29日	オンライン	納涼会（但馬・丹波・淡路共催開催）
9月16日	オンライン	役員会
9月25日	オンライン	マインドフルネス体験講座

○役員会は2か月に1回オンライン式または対面式にて開催

○総会は年に1回（5月）に開催。今年度の会場は尼崎市

【今後の予定】

10月11日	東漸寺（丹波市）	援助者のためのセルフケア講座（座禅体験）
10月24日	西宮市	まちかど相談会（西宮市イベント参加）
11月20日	すこやかプラザ（尼崎市）	新入会・初任者応援企画

阪神ブロックの皆様、学習会・交流会へ参加をお待ちしています。今年度も企画が盛りだくさんです。一緒に阪神ブロックを盛り上げていきましょう。阪神ブロックの会員以外でも参加可能です。ご案内をぜひご覧ください。

【お知らせ】

○楽しく語り合い方→まちかど相談会（10月）、新入会・初任者応援企画（11月）

○ご自身と向き合いたい方→援助者のためのセルフケア講座（10月）

当委員会は、参加型の学習会を行い、実践を振り返り、ソーシャルワークの価値や理論になぞらえながら、自ら言語化・可視化を試みています。間違っただけを言ってしまうと咎められない安全な場所として、実践者としての力を養うトレーニングの場として、専門職が集まる学びと癒やしの場を作り出すことを考えて活動しています。2026年度は、スーパーバイザーとして講師参加の元、ピア・グループ・スーパービジョンの機能を有する事例検討会を実践していきます。

■活動報告

- 6月4日 Zoom
アンケート分析チーム会議
(参加者 3名)
- 6月16日 Zoom
アンケート分析チーム会議
(参加者 4名)
- 6月30日 Zoom
アンケート分析チーム会議
(参加者 4名)
- 7月9日 Zoom
コアメンバー会議 (参加者 6名)
- 7月15日 Zoom
アンケート分析チーム会議
(参加者 4名)
- 7月21日 Zoom
アンケート分析チーム会議
(参加者 4名)
- 7月26日 Zoom
委員会・学習会 (参加者 24名)
事例検討会デモンストレーション
- 7月29日 Zoom
アンケート分析チーム会議
(参加者 4名)
- 8月5日 Zoom
アンケート分析チーム会議
(参加者 4名)

8月10日 Zoom
アンケート分析チーム会議
(参加者 4名)

8月25日 Zoom
アンケート分析チーム会議
(参加者 4名)

■今後の予定

- 9月27日 Zoom
委員会・学習会 (事例検討会)
- 11月22日 Zoom
委員会・学習会 (事例検討会)
- 1月24日 Zoom
委員会・学習会 (事例検討会)
- 3月28日 Zoom
委員会・学習会 (事例検討会)

■参加者の報告

7月26日 テーマ：事例検討会デモンストレーション

昨年度一年間の学習会を経て、デモンストレーションとしてついに待望の事例検討会が行われ、私は事例提出者の役割で参加いたしました。事例検討会は終始温かな雰囲気、司会者・サブ司会者の方は事例提供者をととても大切にしながら丁寧に進行をされ、検討者の方々はとてもサポートティブで、丁寧にアセスメントにより私の引っかかりに焦点を当ててくださいました。「練習だから…」と、軽い気持ちで臨んでいた私だったのですが、恥ずかしいほどあるがままの感情を打ち明けることができ、クライアントへの思いや自身の力不足を振り返ることができました。これも参加者の皆さまに「受け入れてもらえている」という感覚があり、「何を話しても大丈夫」という安心感があったからだと思います。まさにこれは対人援助面接と同じことだなと感じました。このような事例検討会は他にはないと思います。これからこのメンバーで事例検討会を続けていけることが楽しみです。

(記・名田 信)

委員会 インフォメーション

地域包括支援センター支援委員会

委員長 山内 賢治

■活動報告

- 4月14日 Zoom
見学者向け委員会紹介・地域の情報交換
- 7月14日 Zoom
研修の振り返り、今後の研修の確認
包括業務について
- 4月も7月も委員会に関心のある方の見学がありました。

■今後の予定

- 10月13日 定例委員会
地域の情報交換、次年度の予定について
- 10月28日 相談対応力向上研修

- チームアプローチ
11月13日 相談対応力向上研修
全方位型アセスメント
- 12月18日 相談対応力向上研修
精神疾患
- 1月12日 定例委員会
地域の情報、研修の振り返り

■お知らせ

- 地域包括支援センターにお勤めの皆様、地域包括支援センターに関心のある皆様委員会の見学大歓迎です。ご参加お待ちしております。
- ・相談対応力向上研修を一緒に企画してみませんか。研修講師と内容の濃いやり取りができますよ。

委員会 インフォメーション

独立型社会福祉士支援委員会

委員長 樹下 和幸

■活動報告

- 6月22日 Zoomオンライン
定例会（6名＋見学者2名）
- 6月27日 福祉センター
困りごと整理プロジェクト
定例会
- 7月7日 Zoomオンライン
アンケート部会 定例会
- 8月6日 Zoomオンライン
開業セミナー打合せ（スタッフ・講師）
- 8月11日 福祉センター
独立型社会福祉士開業セミナー

2026年度上半期の独立型支援委員会は、新たに立ち上がった部会としての活動と約10年ぶりに「開業セミナー」を開催することができました。

昨年度からの事業「困りごと整理プロジェクト」を具体的なソーシャルアクションを実施するために話し合ったり、「独立型社会福祉士へのアンケート」の実施に向けての話し合いを始める機会となりました。

■今後の予定

2026年度下半期の活動として、毎年実施している「独立型社会福祉士実践報告会」と「困りごと整理プロジェクト」の実施、「独立型社会福祉士へのアンケート」製作に取り掛かる予定です。

■お知らせ

独立型社会福祉士支援委員会は、主に「独立する前のサポート」をするための委員会です。
「独立すると生活やっていけるのかな？」
「独立するためにはどのようにすればいいのかわからない」
などこれから独立を考えておられる方の不安や想いに寄り添って我々委員がサポートします。

すでに独立されている方も、独立型社会福祉士のソーシャルアクションを共に体験したり、独立までの道を振り返って、これから独立を目指す方々へのサポートに生かしてみませんか。

メーリングリストのお知らせ

研修やイベント等の開催にあたり、台風等の自然災害により開催日時が変更になる場合があります。緊急のお知らせは「ひよこメーリングリスト」で発信しますので、登録しご確認できるよう、宜しくお願いいたします。

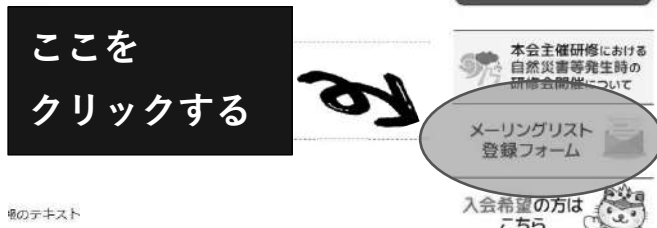
【メーリングリストに登録して便利なこと】

- ☞ メーリングリストに登録している全会員に対して、一斉に且つタイムリーに研修や職員募集等の情報を配信できます。
- ☞ こうのとりの通信への記事掲載が間に合わないなど、一部の情報はメーリングリストでしか配信されないものもあります。
- ☞ 災害時には、会員の安否確認や被害状況の共有もできます。

【メーリングリスト利用の注意点】

- ☞ ご登録いただいているメールアドレスへの配信が何らかの理由で5回エラーが記録されるとシステム上、自動的に登録解除となります。
- ☞ 他者への誹謗中傷、公序良俗に反するものでなければ情報配信いただけますが、メーリングリストは情報共有がメインとなるためディスカッションの場として活用することとはご遠慮ください。また、メーリングリストへの投稿がふさわしい内容か配信前に今一度ご確認ください。
- ☞ メーリングリストには携帯電話のアドレスで登録している方もいるため、早朝・深夜の時間帯はなるべくお控えください。

【ひよこメーリングリスト登録方法】



1. 「兵庫県社会福祉士会」のホームページにアクセスします。

URL : <https://www.hacsw.or.jp/>

※ スマートフォンからもアクセスできます。

QR コードはこちら ⇒



2. 「メーリングリスト登録フォーム」のボタンをクリックします。

3. 登録申込フォームが開くので、会員番号・氏名等の必要事項を記入し、「送信内容を確認する」ボタンをクリックします。

4. 入力内容を確認し、間違いがなければ「送信」ボタンをクリックします。

※事務局で会員確認した上での登録となりますので、即日登録できないことをご了承ください。

委員会活動を見学してみませんか?

委員会活動の様子を見てみませんか?新たな仲間と出会えるチャンスです!参加資格は、「興味・関心がある」でOK!どなたでも参加いただけます。

下記、見学申込書に必要事項を記入の上、兵庫県社会福祉士会事務局までメールまたはFAXでお申し込みください。



兵庫県社会福祉士会事務局 行

FAX 078-265-1340 E-mail info@hacsw.or.jp

委員会見学申込書

調査研究委員会	実習教育支援委員会
国家試験対策委員会	独立型社会福祉士支援委員会
広報委員会	障がい福祉委員会
ソーシャルワーク研究委員会	更生支援委員会
高齢者・障害者虐待対応委員会 ※委員会参加には要件があります	地域移行支援委員会
地域包括支援センター支援委員会	生活困窮者支援委員会
子ども家庭支援委員会	災害福祉支援委員会

※見学を希望する委員会に○を付けてください(複数選択OK!)

ふ り か な		会 員 番 号
氏 名		
電 話 番 号 ☐ 自宅・携帯 ☐ 勤務先	※ 日中連絡のつく番号	
メールアドレス ☐ 自宅・携帯 ☐ 勤務先		
勤務先(任意)		
委 員 会 へ の 質 問 事 項 等 (任 意)		

後日、委員会担当者から直接ご案内いたします。

お問い合わせ先

兵庫県社会福祉士会事務局 TEL 078-265-1330

障害年金

原則20歳～64歳で病気やケガで
障害をお持ちの方が申請可能です！

申請にまつわるモヤモヤを解決！

手続きが難しい
手に負えない

どの位の症状なら
もらえるかわからない

他の社労士に
断られた

受給の確率を
上げたい



初回面談無料！

初回面談では申請に関わる
要件・受給の見込みや
金額などをお答えします

ほとんどの病気やケガが対象です

精神疾患 うつ病・双極性障害・統合失調症・知的障害・
発達障害・高次脳機能障害・認知症・てんかん など

内臓疾患 がん・心筋梗塞・心不全・大動脈解離・人工血
管・ペースメーカー・肺炎・ぜんそく・肝臓炎・腎臓病・糖尿
病・人工肛門・人工透析 など

肢体障害 脳梗塞・脳出血・リウマチ・人工関節・交通
事故やケガの後遺症・切断・ヘルニア・脳性麻痺 など

眼・耳 弱視・網膜症・緑内障・難聴 など

その他 メニエール病・難病・線維筋痛症 など

～選べる4つの相談室～

本社西宮相談室

阪神西宮駅徒歩3分

☎0798-37-1223

神戸三宮相談室

JR三ノ宮駅徒歩3分

☎078-855-6288

姫路相談室

JR姫路駅徒歩5分

☎079-287-6241

大阪相談室

阪神野田駅徒歩3分

☎06-6136-3821

正社員募集 一緒に働きませんか？

＜対象＞ 社会福祉士・精神保健福祉士
＜仕事内容＞ 障害年金申請の申請サポート
＜勤務地＞ 西宮本社
＜年齢・学歴＞ 不問 詳細はお問い合わせください。
＜給与・保険＞ 初任給215,000円～ 社保加入
＜勤務時間＞ 9:00～18:00 土日祝休
初歩から障害年金のプロが丁寧に指導します。
お問合せ :0798-36-4313

牧江社会福祉士事務所 社会保険労務士法人牧江&パートナーズ

併設：兵庫・大阪障害年金相談センター
〒662-0971 西宮市和上町5番9号 西宮ビル



大口・うすき行政書士事務所

いずれかに当てはまる方は是非一度お問い合わせください！

- ☐ 福祉サービス事業所を立ち上げたい。
- ☐ 株式会社やNPO法人、労働者協同組合等を興したいと考えている。
- ☐ 認定NPO法人等の準備を考えている。
- ☐ 社会福祉法人・医療法人を設立したい。
- 定款変更・規則作り等、運営内容に助言がほしい。
- ☐ 保育園・認定こども園を立ち上げたい。
- ☐ 法人経営の支援をしてほしい。
- ☐ 農福連携事業に取り組みたい。
- ☐ 遺産分割、相続手続きに悩んでいる。

《業務内容のご紹介》

- ・各種公益法人（社福・医療・社団・財団）の設立手続き
 - ・障害福祉サービス等の設立手続き等 ・介護タクシーの許可取得
 - ・遺言書、遺産分割協議書、相続業務
 - ・処遇改善加算の取得支援・運用支援
 - ・その他、契約書や覚書作成の事実関係業務 等
- （司法書士、社会保険労務士、税理士等と連携して業務を行うこともあります）

大口・うすき行政書士事務所

兵庫県西宮市本町7番15号

（阪神西宮駅南 徒歩5分 西宮えびす神社そば）

兵庫県行政書士会・兵庫県社会福祉士会 会員

ご相談はこちらまで。
どこでも駆けつけます！



行政書士のマスコットキャラクター ユキマサくん

お電話はこちら！

0798-34-3999

090-9264-7594

maikuma@gmail.com

※行政書士法第1条2 行政書士は、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とする。
（行政書士は業務独占です。行政書士以外の者が他人の依頼を受け報酬を得て業務を行うと行政書士法違反になります）

虐待対応研修 特別プログラム 第1回 (7月30日) 51名参加！

高齢者・障害者虐待対応委員会 委員 田島 啓子

昨年度に続き、今年度も法人の理事長・施設長といった「高齢者虐待、障害者虐待が起きると責任を問われるお立場」の方向けの研修の第1回を7月30日に開催、51名の方に受講いただきました。

これまで以上に今年度は研修開催の周知開始と同時に多くの方から受講申し込みをいただきました。会場の都合により、受講を断念していただく方をえない方が少なくない状況となり、2回目を9月1日に開催することを急遽決定した次第です。

権利侵害の防止、虐待発生時の早期対応の必要性等について法人の責任あるお立場のみなさまが危機感をお持ちくださっている結果だとメンバー一同本当にうれしく思います。

研修はこれまで同様、前半に弁護士の先生による近年の虐待発生数、虐待発生要因、傾向、法的視点からの留意点等の講義を行っていただきました。後半は事例を通して「もしこんなことが起きてしまったら」という視点からグループワークを行っていただき、社会福祉士から少しコメントする、という内容の半日研修です。グループワークでは受講者のみなさまは、活発に意見交換していただき、発表においても大切なポイントを押さえてご発言下さっていました。担当したスタッフ一同にとってもとてもよい学びの機会となったことと思います。



今回、法人の施設長や管理者を対象とした特別プログラムを見学させていただきました。

前半は弁護士から、虐待が起きる背景や組織としての予防的な取り組みなどの講義を受けました。講義の中で印象に残ったことは、コミュニケーションが増えると虐待が減ってくる、ハインリッヒの法則である多くの小さなヒヤリハットに気付くことが大事、職員の感度を上げる、また、信頼できる・相談できるブレーンを持つことが大事、などです。これは、福祉の世界だけに限らず、色々な職場に共通することだと思いました。

後半は社会福祉士による演習・事例検討でした。発表の際、講師である社会福祉士が、すべての発表者のコメントに対して、共感と労いと更なる気付きのヒントになる言葉かけをしていたことが心に残りました。研修の参加者が、法人の施設長や管理者であったことから、講師から「従業員を大切にしてほしい。労いの言葉をかけてあげてほしい。自分が大切にしてもらっていたら、利用者のことも大切にする。」という言葉があり、多くの方々の心に響いたと感じました。

帰り際、参加者の中から「研修に参加して良かった。」「人とつながるっていいね。」との声が聞こえて来て、私自身も研修に参加できた喜びと、高齢者・障害者虐待対応委員会に入会した喜びを感じる事が出来ました。（鎌田 徳子）

第1回権利擁護に向けた協議会 参加報告 7月26日 Zoom



厚生労働省より、「総合的な権利擁護支援策の充実と社会福祉士への期待」について説明がありました。

社会福祉法等の改正により、成年後見制度の見直しや、頼れる身寄りのいない高齢者等への支援の充実が進められています。その中で、市町村に「地域権利擁護相談支援センター」が設置され、中核機関として位置づけられることとなりました。地域権利擁護相談支援センターには、日常生活の支援をはじめ、円滑な入退院のための手続き支援や死後事務の支援など、本人の生活を継続的に支える役割が期待されています。また、家庭裁判所から後見人の選任・交代・終了等の審判にあたって意見を求められた場合には、必要な範囲で適時・適切に応答することも求められています。今後、地域における権利擁護支援の重要な社会資源として、さらに大きな役割を担っていくものと感じました。

続いて、高齢者や障害者への虐待対応に関する近年の動向について説明がありました。法制度の整備が進み、福祉関係者等の虐待に対する意識が高まったことで、通報や相談の件数は増加しています。一方で、市町村では日々の業務が多忙であることから、虐待対応後の継続的なモニタリングを十分に行うことが難しいという課題も示されました。

また、他の都道府県社会福祉士会の方々とこのグループワークでは、それぞれの地域での取組や課題について、さまざまな意見を聞くことができました。同じ制度のもとでも、地域によって課題や取組方法に違いがあることを知り、大変参考になりました。

今回の研修を通して、権利擁護や虐待対応は、今後ますます社会福祉士の専門性が求められる分野であると感じました。学んだ制度の動向や他地域での取組を、自分自身の日々の業務や実践にも活かしていきたいと思います。

（高橋 豊）

高齢者・障害者虐待対応委員会の動き (2026年6月～2026年8月)

日付	活動内容
【講師派遣】	
6月25日	【高齢】加東市
8月4日	【高齢】佐用町(民児協)
8月5日	【高齢】神戸市(地域包括支援センター)
8月25日	【高齢・障害】芦屋市 介護保険等事業所・地域包括
8月27日	【高齢】神戸市(地域包括支援センター)
【専門職チーム派遣】	
6月29日	【高齢】姫路市
8月17日	【高齢】神戸市垂水区
【弁護士とのワーキング】	
7月3日	市町意見交換会・定例ワーキング
【県委託事業】	
7月1日～8月15日	高齢者虐待対応力向上研修 A
8月18日 19日	障害者虐待対応力向上研修 D
【定例委員会・臨時委員会等】	
7月9日	運営委員会・定例委員会
【委員研修 その他】	
7月26日	ぱあとなあ連絡協議会
7月30日	虐待対応研修特別プログラム
【相談員派遣】	
毎月第1・3・5 火・木曜日	兵庫県弁護士会主催 「高齢者・障害者のための弁護士 電話法律相談」

◆身体拘束を考えるヒント



“認知症マフ”を知っていますか？

ミトンのように体を拘束することなく、毛糸のぬくもりで不安や緊張を和らげるケア用品です。
(イギリス発祥、国内施設・病院にて利用拡大中！)

委員会活動紹介動画

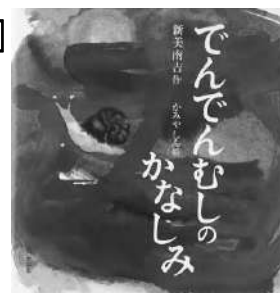
当会ホームページにて
絶賛公開中！



おすすめBOOK

『でんでんむしのかなしみ』

新美 南吉(著)
かみや しん(イラスト)
大日本図書



『しあわせって、なに?』

オスカー・ブルニフィエ(著)
重松清(監修)
カトリーヌ・ムリス(イラスト)
西宮かおり(翻訳)

朝日出版社

柳田邦男さんは「人生に3度絵本を」と言っています。大人にも影響を与えた絵本を2冊ご紹介します。

1冊目は『でんでんむしのかなしみ』

ある日、1匹のでんでんむしが、自分の背中の殻の中に悲しみがいっぱい詰まっていることに気が付きました。でんでんむしが、他のでんでんむしにその話をすると、みんな「私の背中也悲しみにいっぱい」と言います。やがて、はじめのでんでんむしは、みんな悲しみを背負いながら生きていることに気付き、嘆くことをやめました。この絵本は、美智子様や上智大学の高木慶子名誉教授の人生にも深くかかわった作品です。満面の笑顔が印象的な三波春夫さんの言葉「悩まない人に本当の明るさはつかめない。」が思い出されます。

2冊目は『しあわせって、なに?』

幸せについて考える為の大きな問題が6つ。哲学する楽しさが味わえます。本の最後、重松清さんの『おまけの話』も心に沁みます。施設で暮らす祖母を訪ねた翔太とパパは、認知症が進んで、誰かわからなくなっている祖母に会って、悲しい気持ちになります。二人は帰りに寄った動物園で、檻の中で安楽に暮らすのと、アフリカで敵に怯えながらも気ままに暮らすのと、どっちが幸せかと語り合います。パパはなんと答えたのでしょうか？皆さんはどう思われますか？
(鎌田 徳子)

防災いいな 1.17



災害に強いソーシャルワーカーへの道

2026 年 10 月 10 日 第 10 号

発行：兵庫県社会福祉士会 災害福祉支援委員会広報チーム

7 月 28 日に発生した「令和 8 年熊本地震」、8 月 13 日から 14 日にかけて発生した「令和 8 年 8 月千葉豪雨」と、今年の夏も大きな災害が立て続けに起こりました。被災地では、多くの福祉施設が被災しています。災害時に備えて、2024 年 4 月より介護事業所、障害福祉事業所に BCP（業務継続計画）の策定が義務付けられましたが、実際にどのような取り組みがなされているのでしょうか。今号では、熱心な取り組みをしている委員会メンバー溝田弘美さんに、自身の施設の BCP を紹介してもらいます。

わたしの職場の BCP ～テクノロジー活用による BCP 戦略～



▲中央が溝田弘美さん

社会福祉法人 弘陵福祉会 理事長
特別養護老人ホーム六甲の館 施設長
日本防災士会 理事 溝田 弘美

神戸市北区にある「特別養護老人ホーム六甲の館」の BCP 目標値は、大規模災害時に、外部からの支援がなくても 2 週間生き延びるということです。そのためのライフライン設備や備蓄をしています。そこまでしているには明確な理由があります。六甲山の標高 415 メートルという立地条件で、大規模災害時孤立化するリスクを抱えており、外部からの支援が届くのは、神戸市内で最後になるという危機感があるからです。

BCP 目標値を『2 週間単独で生き延びる』にしていることには 2 つの大きな意味があります。一つ目は、発災後、入所・利用している利用者さんに元気でいて頂きたいという思いです。南海トラフのような巨大地震では、2 週間では足りないかもしれませんが、過去の災害から学び目標値を設定しています。二つ目は、福祉避難所としての役目を果たすということです。神戸市内のすべての特別養護老人ホ

ームが所属する神戸市老人福祉施設連盟は、神戸市と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を結んでおり、災害時にはすべての特別養護老人ホームが福祉避難所としての役割を担うことになります。いち早く福祉避難所開設ができるよう、できるだけの準備をしようと励んでいるのです。

阪神・淡路大震災のとき、当施設はボイラーの故障だけだったので、神戸市から要請に応じて被災した介護が必要な高齢者を避難所に迎えに行き施設で過ごして頂くという、現在の福祉避難所の原型となることを経験しました。これが現在の BCP 目標値設定の原点になっています。

ライフラインの設備も工夫してきました。大規模災害時にすべてのライフラインが止まっても、蛇口で 9.7 トンの水が使えるようにしています。電気は、停電時に自動で発火する自家発電機を備えています。アメリカから来たこの自家発電は、プロパンで動くため、プロパンの供給があれば、ずっと使い続けることができます。阪神・淡路大震災ではプロパンの供給が一番早かったことで、プロパン型のものにしました。



▲9.7トンの水を蓄えている貯水槽

アメリカ製の自家発電機▶



この 2 週間目標のために、BCP 訓練では施設職員で炊き出しを行うだけでなく、行政の方や外部の協定を結んでいる施設さんにも参加してもらっています。一部は BCP 訓練、二部は福祉避難所開設訓練で、一部と二部と同日に行います。そうすることで、特別養護老人ホームが果たすべき役割が明確になるからです。



◀▼BCP 訓練の様子



「特別養護老人ホーム六甲の館」は、2025 年、第 11 回ジャパン・レジリエンス・アワードで国土強靱化担当大臣賞を 4 社で共同受賞しました。このアワードは、日本を災害に強い国にするためにできたものです。

([https://www.resilience-](https://www.resilience-jp.biz/award/)

[jp.biz/award/](https://www.resilience-jp.biz/award/)) このような賞にチャレンジすることで、災害対策について日々考えるということが重要だと思います。また、職員に防災士の資格試験や、DWAT（災害支援福祉チーム）の研修を受けることを推奨しています。

一施設ができることには限界がありますが、外部のさまざまなリソースを活用しながら励んでいます。



REPORT

「災害に強いソーシャルワーカー養成研修」

災害福祉支援委員会では、8月2日に「災害に強いソーシャルワーカー養成研修」を開催し、会場とオンラインで26名の参加がありました。

当日参加した、遠藤由佳さんのレポートです。

=====

私は「災害に強いソーシャルワーカー養成研修」に参加し、当会災害福祉支援委員会委員長の高岡美津子氏による「災害時の“生活”を支えるために ～避難所・地域・福祉をつなぐ視点～」と、日本防災士会副理事長の大月真由美氏による「避難者自身による避難所運営」の講演を受講しました。



▲高岡氏の資料

高岡氏の講演では、「生活を支えることが命を守ることにつながる」という言葉が特に印象に残りました。災害時に福祉職は、言葉にならない困りごとや生活の小さな変化に気づき、必要な支援へつなぐ役割を担います。また、「助けて」と言える関係性は災害時に突然生まれるものではなく、平時からの信頼関係や地域とのつながりの積み重ねが重要であることを再認識しました。

大月氏の講演では、能登半島地震での実践を通して、避難者自身が主体となる避難所運営の重要性について理解を深め、専門職が前面に立って運営するのではなく、避難者が自らの役割を担い、支え合えるよう後方から支援することの大切さを学びました。また、トイレ環境が健康や生活の質に与える影響の大きさや、話し合いができる避難所ほど協力体制を築きやすいことが印象的でした。さらに、DWAT（災害支援福祉チーム）による福祉的支援の有効性や、ソーシャルワーカーに求められる情報収集・アセスメントの重要性についても考えさせられました。



今回の研修を通して、災害時に真に力となるのは平時から築かれた「人の見える関係性」であることを実感しました。今後は、障害のある方やその家族も含め、地域の防災訓練や日頃の関わりを通して支え合える体制づくりを意識しながら、ソーシャルワーカーとして「気づく力」「見る力」「つなぐ力」を大切に、一人ひとりの生活に寄り添った支援を実践していきたいと思っています。

◀会場では委員会メンバー等が受講しました



兵庫 DWAT 隊員に「社会福祉士会」として委員会メンバーが登録！

災害発生時に避難所等に派遣され、支援を行う DWAT（災害支援福祉チーム）ですが、8月に兵庫県では職能団体として初めて、兵庫県社会福祉士会の所属で登録が可能となり、一昨年、昨年に、DWAT 養成研修を受講した災害福祉支援委員会の13名が隊員として登録しました。今年度の県の DWAT 養成研修には、委員会外の会員も含め、約20名が受講予定です。

災害関連死を防ぐためにも重要な役割をもつ DWAT。今後、会員の活躍が期待されます。

下半期

入会キャンペーン

つながり できると 心つよいね♪

キャンペーン対象期間

2026年10月1日(木)～2026年12月24日(木)

※上記の期間内(必着)に、入会申込書を本会事務局まで送付いただいた方が対象となります。

今だけの入会特典

1

年会費が半額に!

(¥17,000) ▶ ¥8,500

- ・2026年度年会費
(2026年4月1日～2027年3月31日分)
- ・年会費半額分の8,500円と入会金
5,000円の合わせて13,500円の
請求書を送付します。



2

再入会者への
割引!

- ・再入会者には入会金(5,000円)
を本会が負担します。
8,500円の請求書を送付します。



3

本会オリジナル
グッズをプレゼント!

- ・本会専用キャラクター兵之助くんの
オリジナルクリアファイルを
差し上げます。



兵庫県社会福祉士会に入会するとこんな良いことがたくさんあります!

- ✓ 日本唯一の社会福祉士の職能団体(会員4万人超)に入会できます。
- ✓ 研修会・全国大会等へ参加し、自己研鑽の機会が豊富です。
- ✓ 各種研修を会員価格(半額程度)にて受講できます。
- ✓ 最新情報や就職情報の入手が可能になります。
- ✓ 出版物が割引購入できます。
- ✓ 社会福祉士ならではのネットワークにより、支援の幅が広がります。
- ✓ 専門委員会や地区ブロックに所属することができます。
- ✓ 国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)の会員となります。
- ✓ 認定社会福祉士を目指すことができます。
- ✓ 専門職成年後見人等を目指すことができます。

入会申込書をご入用の際は、兵庫県社会福祉士会事務局までお電話いただくか、
下記に必要事項を記入の上、FAX・E-mailをお送りください。

【お問い合わせ】 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3F

TEL: 078-265-1330 FAX: 078-265-1340

E-mail: info@hacsw.or.jp



送信先: FAX: 078-265-1340 または E-mail: info@hacsw.or.jp

ふりがな

氏名

住所

電話番号

E-mail

兵庫県社会福祉士会東播ブロック

第6回集い場リアル！

BBQ

交流会

加古川駅前すぐの会場で、お食事を楽しみながら、みんなでおしゃべりしませんか？
気軽に参加できる会です、ぜひご参加ください♪！

(ご用意はしていますが)
お肉等の差し入れ歓迎！

📅 日時：2026.11.1(日)
11:15～14:00

※時間は会場都合により変更可能性あり

📍 場所：バベポン
加古川ヤマトヤシキ店

〒675-0065 加古川市加古川篠原町21-8
加古川ヤマトヤシキ屋上

⚠️ アルコール類はご持参ください。
ソフトドリンクは準備しております。

先着20名様

中学生以上の大人：3,800円
(内、1,800円は施設利用料)
小学生：1,900円
(内、900円は施設利用料)
未就学児：無料

👥 参加対象者

社会福祉士の皆様、福祉関係のお仕事をされている方はもちろん、ご家族の方や兵庫県社会福祉士会の会員ではない方も大歓迎です！

★申込締切(キャンセル・変更)：10.25(日)17:00

お問い合わせ：backnumber8931@icloud.com (東播ブロック：兒玉)

対
象

障害者虐待対応力向上研修C

日常の仕組みと組織で
高める支援の質。

管理者

&

虐待防止 責任者

虐待防止は、特別な取り組みではなく、日々の支援の質の積み重ねの中にあります。
本研修では、身体拘束の適正化や虐待防止委員会の運営など、
日常的な取り組みを見直しながら、虐待を未然に防ぐ組織づくりを考えます。

2026年 **11月17日** 火 OR **12月15日** 火

*どちらも同じ内容です。都合の良い日程にてお申し込みください。

各日

- ・ 時 間 9:20~16:35 (受付9:00~)
- ・ 会 場 兵庫県福祉センター 1F多目的ホール
(神戸市中央区坂口通2-1-1)
- ・ 受講料 1,000円/一人につき

— 内容 —

- ・ 虐待が疑われる事案への対応 (約2時間)
- ・ 虐待防止委員会の活性化 (約2時間)
- ・ 身体拘束適正化委員会の運営 (約2時間)



事前講義 (オンデマンド) の視聴必須

令和7年度障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修の
「共通講義」「管理者・虐待防止責任者コース講義」の講義
動画をすべて視聴した後、お申し込みください。



お問い合わせ

一般社団法人兵庫県社会福祉士会
事務局 担当 胡中 (こなか)

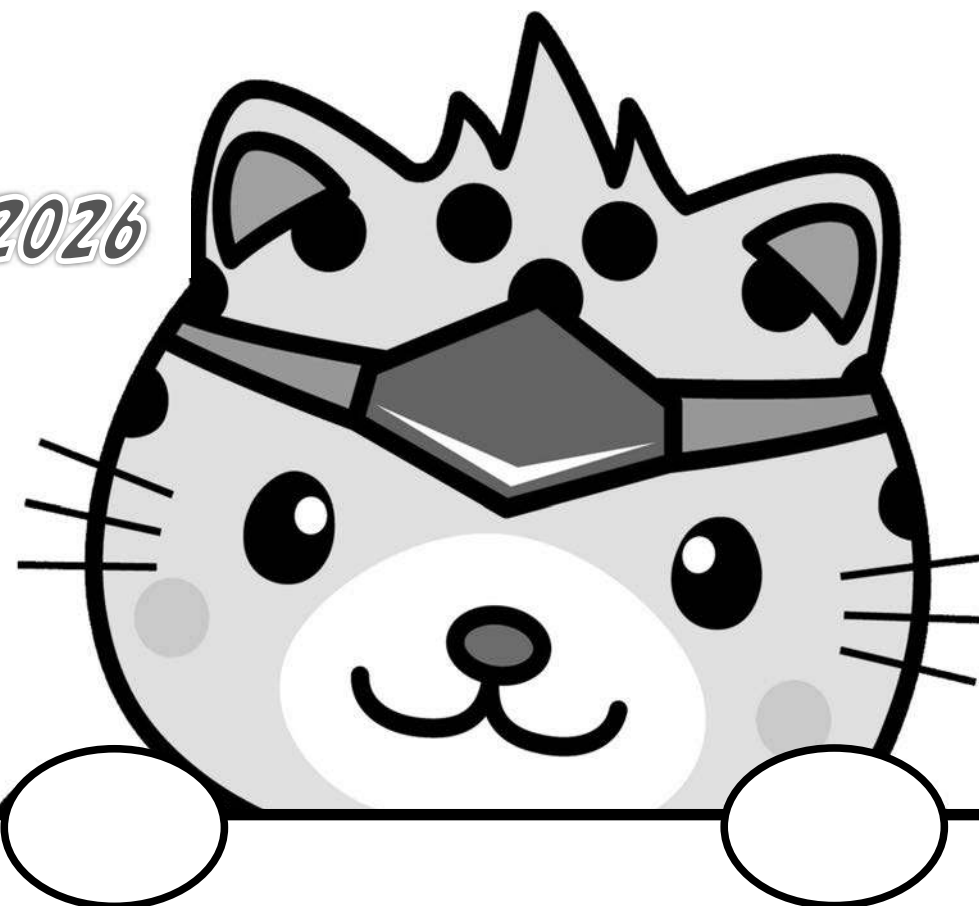
TEL 078-265-1330 konaka@hacsw.or.jp



申込受付開始は10月1日 (木) ~
各日定員70名に達し次第締め切り
申込はこちらから▶▶



2026



教えて！先輩！！

～社会福祉士会活動の紹介と参加の仕方について～

【日 時】 11 月 20 日（金） 19：00～20：30

【場 所】 尼崎市立すこやかプラザ・多目的ホール（フェスタ立花南館5階）
（JR 立花駅改札口を出て南側へ徒歩3分・駐車場あり）

【対 象】 新入会・初任者等（入会1～5年程度の方）または未入会者等
（阪神ブロックの方に限らず、どなたでも参加できます）

【参加費】 無 料（全体説明と聞きたいテーマを選択）

【申込み】 11 月 13 日（金）までに下記 URL または二次元
コードからお申込みください

<https://forms.gle/C9WJA2WhZKzpxB2J9>



【懇親会】 4000 円程度（希望者・企画終了後、会場近くにて）

□に✓が1つでもついた「あなた」のための企画です！

- ☐ 社会福祉士を取得したが、次につながらない
- ☐ 他の職場の様子をきいてみたい
- ☐ 職場等に気がるに相談できる人がいない
- ☐ いろいろな人と交流してみたい など

●誰だって、最初は新人です。新人だからこそ悩むこともある。

●そんな時は、誰かに聞くのが一番。日頃の悩みを“先輩”に聞いてみよう！



夜の集い場（ナイト☆カフェ）



阪神ブロック以外の方、
一般の方も大歓迎！

○社会福祉士のみなさんの居場所と交流の場（ナイト・カフェ）で一緒にゆっくり語らいましょう

○お好きな肴やお酒やノンアルコールなどをご準備して、お気軽にご参加ください

日時：2026年12月12日（土）19時～20時30分
（18時40分から入室できます。出入り自由です）

参加方法：オンライン（ZOOM）ご自宅等からご参加ください



今夜の話題提供者

裁判ライター 普通さん

テーマ「裁判傍聴のススメ」

～刑事裁判から見えてくる生きづらさと福祉の課題～

聞き手：阪神ブロック長 前川 雅彦

普通さんは色々な媒体で発信されています。ぜひご覧ください。

文春オンライン：<https://bunshun.jp/list/author/6867630ba53aef1d6e000004>

YouTube：<https://www.youtube.com/@ojkc-saiban>

弁護士ドットコムニュース <https://www.bengo4.com/topics/author/14/>

公式サイト「大人の人生交差点クラブ」<https://www.ojkc.net/>

費用：無料 申込：不要

ZOOM：（ID：893 4386 9469 パスコード：562489）を入力

当日連絡先：阪神ブロック 担当 岡本 090-3033-7205

◆夜の集い場（ナイト☆カフェ）LINE グループへ ぜひご登録ください

次回以降のご案内をいたします ⇒ <https://line.me/R/ti/g/MuFP6KAr2I>



主催：兵庫県社会福祉士会 阪神ブロック（尼崎部会）



2026年度【第2回】 災害支援活動者養成研修

単位取得コース

主催：（一社）兵庫県社会福祉士会

災害対応・支援（分野共通）（分野専門／地域社会・多文化分野／ソーシャルワーク機能別科目群）
1単位（認証No.2025002） 高齢分野、障害分野、児童・家庭分野、医療分野での読み替え可能

研修概要

災害対応の法制度、関係機関の役割、災害発生後からの福祉的ニーズの変遷、生活支援の実際を学び、ソーシャルワーカーの視点で災害支援ができるように、**オンデマンド講義の視聴（6科目）**と**オンラインでのライブ研修**により、災害支援の実際を学びます。

＊事前課題、事後課題あり

＊オンデマンド講義は2025年度、2026年度【第1回】と同じ内容です。

対象 社会福祉士であり、社会福祉士の災害支援に興味がある方

受講料

- ・社会福祉士会会員（全国）17,820円（税込）
- ・非会員 35,640円（税込）

＊申込者都合によるキャンセルは、返金できません。

定員

60名

プログラム・修了要件

次ページ参照

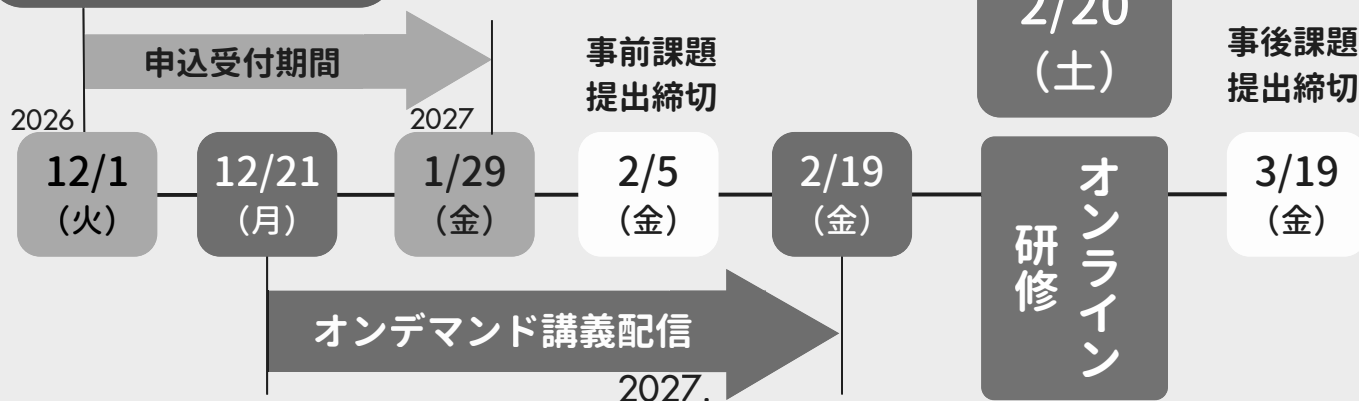
申込方法

右の二次元コード、または下記のURLよりお申込みください。
受付後、受講決定通知をメールでお送りいたします。

<https://forms.gle/zZPEkSXDF9SBKSE7>



研修スケジュール



＊オンライン研修を受講するには、2027年2月19日（金）までに、オンデマンド講義（6科目）の受講をすべて修了し、事前課題を提出することが必須要件となります（詳細は次ページ参照）。 ※講義の視聴は研修後も3月19日（金）まで可能です。

お問合せ

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

☎ 078-265-1330

✉ info@hacsw.or.jp

研修プログラム

オンデマンド講義配信

2026. 12.21 月 ～ 2027. 2.19 金

※講義の視聴は
3月19日（金）
まで可能です。

	内 容	講 師
1	オリエンテーション	
2	【講義1】福祉専門職による災害支援	福島県DWAT協議会会長 島野光正氏
3	【講義2】日本社会福祉士会の災害支援活動と災害対応ガイドライン	日本社会福祉士会副会長 角山信司氏
4	【講義3】大規模災害における福祉支援の変遷	兵庫県立大学大学院教授 阪本真由美氏
5	【講義4】多様な災害支援団体とDWAT	元大阪DWAT隊員 平井亜里砂氏
6	【講義5】被災者支援のための制度と災害ケースマネジメント	弁護士 津久井進氏
7	【講義6】避難行動要支援者支援	兵庫県社会福祉士会事務局長 西野佳名子氏

※講師略歴は兵庫県社会福祉士会ホームページの本研修ページよりダウンロードできます。

オンライン研修

2027. 2.20 土 10:50～16:45

※10:30～受付開始

オンライン研修を受講するためには、

- ① 2月19日（金）までに上記のオンデマンド講義（6科目）を全て修了すること
- ② 2月5日（金）までに、事前課題を提出すること

が必要です。

時間		内容	講師
10:50～		オリエンテーション	
11:00～ 12:30	8	【講義・演習7】避難所の実際 （避難所生活と避難所運営の課題について）	神戸学院大学 伊藤隆博氏
13:20～ 14:50	9	【講義・演習8】福祉専門職による災害支援の実際Ⅰ （災害支援活動における積極的ニーズ把握・アセスメントについて）	元大阪DWAT隊員 澤村さおり氏
15:00～ 16:30	10	【講義・演習9】福祉専門職による災害支援の実際Ⅱ （アセスメントシート・企画シートを使った住民主体のネットワーク づくりについて）	元大阪DWAT隊員 澤村さおり氏
16:35～		修了式	

※講師略歴は兵庫県社会福祉士会ホームページの本研修ページよりダウンロードできます。

修了要件

- 1) 事前・事後課題を提出し、合格すること ※課題の提出先は受講決定通知をご参照ください。
- 2) 事前のオンデマンド講義視聴をオンライン研修前までにすべて視聴し、
オンライン研修を受講すること（15分以上の遅刻・早退・途中退席は未修了となります）

事前課題

2月5日（金）までに下記の課題を作成し、指定のメールアドレスに提出してください。
「受講者の在住または職場のある市町村の地域防災計画を調べ、避難所や福祉避難所の
場所を確認し、避難所の運営方法をまとめる」（800～1,000字）

事後課題

3月19日（金）までに下記の2題を作成し、指定のメールアドレスに提出してください。
1. 「災害発生後の被災者ニーズの変化と社会福祉士の発揮すべき専門性について」
2. 「災害ソーシャルワークにおけるニーズ把握やアセスメントの実際について」
（各800～1,000字）

オンデマンド講義

【講義1】福祉専門職による災害支援

講師：福島県DWAT協議会会長 島野光正氏

略歴：郡山女子大学家政学部生活科学科 准教授。

元郡山医師会郡山市医療介護病院事務部長（退職時）。元福島県社会福祉士会会長。

元日本社会福祉士会副会長。福島県広域災害福祉支援ネットワーク協議会会長。

日本災害福祉研究会理事。

【講義2】日本社会福祉士会の災害支援活動と災害対応ガイドライン

講師：日本社会福祉士会副会長 角山信司氏

略歴：社会医療法人仁愛会システム統括課課長。

東日本大震災の際は災害医療派遣チーム（沖縄DMAT）のロジスティックとして活動に従事。

沖縄県総合防災訓練、自衛隊との合同訓練や沖縄空港緊急災害訓練等へDMATとして参加。

【講義3】大規模災害における福祉支援の変遷

講師：兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授 阪本真由美氏

略歴：専門は、減災コミュニケーション、防災教育、地域防災。

人と防災未来センター主任研究員、名古屋大学減災連携研究センター特任准教授を経て現職。

ひょうご震災記念21世紀研究機構理事。全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

（JVOAD）理事・運営委員として官民連携による被災者支援にも取り組んでいる。

中央防災会議委員。

【講義4】多様な災害支援団体とDWAT

講師：元大阪DWAT隊員 平井亜里砂氏

略歴：障がい、児童、高齢、医療分野で社会福祉士として現場経験を積んだのち、厚生労働省

DMAT事務局員として災害医療支援、コロナ支援に携わる。

能登半島地震では大阪DWAT隊員として活動。災害福祉研究を継続しつつ、関西学院大学人間

福祉学部にて社会福祉士養成に従事後、現在、内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（地

域防災力強化担当）付主査。

【講義5】被災者支援のための制度と災害ケースマネジメント

講師：弁護士 津久井進氏

略歴：日弁連災害復興支援委員会元委員長・近畿災害対策まちづくり支援機構事務局次長・

兵庫県震災復興研究センター共同代表。

著書：「Q&A 被災者生活再建支援法」商事法務 2011年5月出版

「大災害と法」岩波新書 2012年7月出版

「災害ケースマネジメント ガイドブック」合同出版 2020年1月出版

【講義6】避難行動要支援者支援

講師：兵庫県社会福祉士会事務局長 西野佳名子氏

略歴：2018年度より兵庫県避難行動要支援者支援研修の企画運営に従事。加古川市防災会議委員。

神戸学院大学総合リハビリテーション学部非常勤講師。

著書：i-BOSAIブックレット№3「誰一人取り残さない防災に向けて、福祉関係者が取り組むべき

こと一物語編一」萌書房2022年発行

i-BOSAIブックレット№4「誰一人取り残さない防災に向けて、福祉関係者が取り組むべき

こと一演習解説編一」萌書房 2022年発行

オンライン研修

【講義・演習7】避難所の実際（避難所生活と避難所運営の課題について）

講師：神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教授 伊藤隆博氏

略歴：大学卒業後、MSWとして済生会滋賀県病院、伊勢赤十字病院などに勤務しつつ、災害派遣医療チーム（DMAT）の業務調整員としても活動。岩手県立大学社会福祉学部准教授を経て現職。DWAT養成研修に多数出講。

著書：「事例から学ぶDWATによる災害福祉支援」みらい 2025年秋発行

【講義・演習8】福祉専門職による災害支援の実際Ⅰ

（災害支援活動における積極的ニーズ把握・アセスメントについて）

【講義・演習9】福祉専門職による災害支援の実際Ⅱ

（アセスメントシート・企画シートを使った住民主体のネットワークづくりについて）

講師：元大阪DWAT隊員 澤村さおり氏

略歴：同志社大学社会福祉学専攻卒業後、池田市社会福祉協議会に入職し、ボランティア・地域包括支援センター等担当。現在、内閣府地域防災力強化担当職員。

東日本大震災では日本社会福祉士会地域ネットワーク再構築事業として、大槌町包括にて仮設住宅での自治組織立ち上げ支援に参加。熊本地震・西日本豪雨・大阪北部地震・能登半島地震にて、社会福祉士会の支援活動に従事。

× 日 -

研修のねらい

本研修はDWAT養成研修ではありません。DWAT隊員の中でも連絡調整のプロである社会福祉士の役割は重要であることから、DWAT養成研修では触れられない内容を重視し、DWAT隊員の方にもこれからDWAT登録をする方にも受講いただけるようプログラムしました。各分野から新しい話題提供をいただき、被災地の実情や災害支援の実際を感じてください。

災害対応の法制度、関係機関の役割、災害発生後からの福祉的ニーズの変遷、生活支援の実際を理解し、ソーシャルワーカーの視点で災害支援ができるようになることが到達点です。

*オンデマンド講義は2025年度と同じ内容です。



お問合せ



その“もやもや”が、
次の学びになる！

主催：兵庫県社会福祉士会（調査研究委員会）

実践発表会 & 実践の中に研究を 発見するワークショップ



日時

2027年 1 月 9 日（土）
13:45～17:00（Zoom）



Zoomによるオンライン開催
※前回同様、基礎研修Ⅱ実施日の
午後に開催します。



日々の実践で感じる「なぜだろう」「もっとよい方法はないだろうか」。

その小さな疑問や工夫の中には、研究につながるヒントがあります。

実践発表を聞き、参加者同士で話しながら、研究のタネを一緒に見つけてみませんか？

初めての方も
大歓迎！

実践発表会

あなたの実践が、誰かのヒントになる。
日頃の実践や工夫を、仲間と共有してみませんか。



発表者募集中！

実践の工夫や気づきなど、
あなたの経験をぜひお聞かせください！

発表をご希望の方は
お気軽にお問い合わせください。

募集締切：2026年10月末日

実践の中に研究を発見するワークショップ

特別な研究経験は必要ありません。
日々の実践の延長線上に研究はあります。



実践 → 振り返り → 問い → データ → 考える → 次の一歩へ！

こんな方におすすめです！

- ✓ 研究には興味があるけれど、難しそうだと感じている方
- ✓ 日々の実践を誰かと振り返ってみたい方
- ✓ 実践発表や事例発表に挑戦してみたい方
- ✓ 記録や事業報告を実践改善に活かしたい方
- ✓ 他のソーシャルワーカーの工夫や視点を知りたい方

初参加
歓迎！



研究経験
不要！



県外の方も
大歓迎！



オンライン
参加OK！



- 対象 兵庫県社会福祉士会 会員および関心のある方
(学生・他職種の方もご参加いただけます)
- 定員 33名（先着順）
- 参加費 会員：2,200円（税込） 一般（会員以外）：4,400円（税込）

最少催行人数に達しなかった場合、
中止することがあります。
あらかじめご了承ください。

参加申込はこちらから▶
Googleフォームからお申込ください。

申し込みURL:
<https://x.gd/QJhL8>



参加締切：2026年12月4日（金） ※締切後のお申込みはお受けできません。

お問い合わせ

兵庫県社会福祉士会 事務局
〒651-0062 神戸市中央区阪口通2-1-1
兵庫県福祉センター内

☎ 078-265-1330
✉ info@hacsw.or.jp



兵庫県社会福祉士会
（調査研究委員会）

2026 年度 未成年後見人養成研修 開催要項

本研修は、都道府県社会福祉士会の権利擁護センターぱあとなあの名簿登録者で、今後、未成年後見人等候補者名簿に登録して、社会福祉士の専門職後見人として受任するために必要とされる、知識・技術を修得することを目的に開催します。

1. 日 時 2027年1月23日（土）～24日（日）
2. 実施方法 Zoomによる双方向型の研修（出席は課目ごとに確認します）
3. プログラム（予定、プログラムは変更となる場合があります。）※本研修には、事前課題があります。

		内 容
1月23日・土曜日	10:00～10:10	開会挨拶・研修ガイダンス(10分)
	10:10～11:40 講義(90分)	科 目 「社会福祉士と未成年後見」 講 師 田邊 哲雄氏（兵庫大学教育学部教育学科教授・社会福祉士）
	11:40～12:40	昼食休憩(60分)
	12:40～14:40 講義(120分)	科 目 「未成年後見人の法的立場」 講 師 石田 真美氏（神戸合同法律事務所・弁護士）
	14:40～14:55	休憩(15分)
	14:55～16:55 講義(120分)	科 目 「子どもの発達課題と生活」 講 師 木下 直俊氏（兵庫県中央こども家庭センター医療参事・児童精神科医）
1月24日・日曜日	9:30～11:00 講義(90分)	科 目 「関係機関との関わり」 講 師 児童相談所職員・社会福祉士
	11:00～11:10	休憩(10分)
	11:10～12:10 事例報告(60分)	科 目 「未成年後見活動の実際(事例報告)」 講 師 曾我 智史氏（尼崎駅前法律事務所 弁護士・社会福祉士）
	12:10～13:10	昼食休憩(60分)
	13:10～16:10 演習(180分)	科 目 「未成年後見活動の実務演習」 講 師 曾我 智史氏（尼崎駅前法律事務所 弁護士・社会福祉士）
	16:10～16:20	休憩(10分)
	16:20～16:50 講義(30分) 閉会	科 目 「ぱあとなあとの関わり」 講 師 米田 直人氏（権利擁護センターぱあとなあ兵庫運営委員長・社会福祉士）

4. 受講対象者：都道府県社会福祉士会のぱあとなあ名簿登録者でインターネット環境があり、Zoomによる受講が全科目可能な者。かつ以下の要件のいずれかを満たすこと
- (1) 未成年後見を受任中で未保険の者(国の未成年後見人賠償責任保険、本会社会福祉賠償保険(Eプラン))
 - (2) 研修修了後、未成年後見人を受任しようとする者(未成年後見受任希望者)

※受講希望者が定員を超えた場合は、上記の(1)、(2)、の順位等で兵庫県社会福祉士会が受講者を決定します。

5. 定 員：50名（最小催行人数25名）

6. 受 講 費：25,000円（消費税込み・資料代含む）

7. 申込方法 Googleフォームから申し込みください。

申し込み URL：<https://forms.gle/KaakzyBgiZU9mUaC8>

右の二次元コードからの申込みも可能です。Googleフォームからの申込みができない方は、ぱあとなあ



あ兵庫事務局にお問い合わせください。

7. 申 込 期 日： 11月20日(金)正午まで（定員を超えた場合は、選考順位により受講決定します）

8. 受 講 可 否： 受講の可否は、12月中旬までには、文書にて通知します。

併せて、受講案内、受講費の納入方法、**事前配布（「未成年後見活動の実務演習」）**、キャンセルの扱い等もご案内します。

10. 研 修 単 位： 生涯研修制度の単位は、2日間すべてのプログラムを修了することで、生涯研修制度独自の研修・実績 11.5 時間となります

11. 修 了 要 件： (1) 事前課題（「未成年後見活動の実務演習」）に取り組んでいること。

(2) 2日間すべてのプログラムに出席すること。（欠席課目の翌年度への持ち越しや他県会開催の研修への振替受講の設定はありません）

※お預かりした個人情報は当研修会の運営目的以外には使用いたしません。

※受講資格確認のため、兵庫県士会以外に所属の方については、所属県士会に問い合わせを行います。

※一旦お申込みいただきました内容に変更等が生じた場合は、必ず書面にてご連絡ください。

※受講申込みが最小催行人数に達しない場合、開催しないことがあります。また、自然災害等発生によりやむを得ず研修を中止することもあります。なお、中止となった場合、当会の責でない場合は、受講料の返金はいりませんのでご了承ください。

【主催・問い合わせ先】

〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター 3 階

TEL:078-265-1330 FAX:078-265-1340 mail: partner-jimu@hacsw.or.jp

一般社団法人兵庫県社会福祉士会 担当：北野

令和8年熊本地震 「活動支援金」募集について

日本社会福祉士会では、熊本県社会福祉士会をはじめ、関係団体・関係機関と連携し、被災された方々への支援に取り組んでまいります。このたび、被災された方々への支援活動を行うため、「令和8年熊本地震 活動支援金」の募集を行います。

皆さまからお寄せいただいた活動支援金は、熊本県社会福祉士会への支援をはじめ、本会が行う被災者支援活動等に活用させていただきます。趣旨をご理解いただき、可能な範囲で皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

募集期間

2026年7月31日～2026年12月31日

振込先口座情報

郵便振替（ゆうちょ銀行窓口・ATM等から）

記号番号：00110-1-299322

口座名義：公益社団法人日本社会福祉士会

他金融機関（銀行等）からお振込の場合

金融機関名

店名（店番）

預金種目

口座番号

ゆうちょ銀行 (9900) 019支店 (019)

当座

0299322

口座名義：公益社団法人日本社会福祉士会

① ご協力にあたってのお願い・ご案内

- **氏名等の公表**：匿名（匿名希望）の場合を除き、ご支援いただいた個人・団体の氏名・名称（カタカナまたは漢字）は、日本社会福祉士会ウェブサイトに適宜掲載させていただきます。個人で匿名を希望される方は、通信欄にその旨をご記入願います。
- **所得控除**：お寄せいただいた支援金は、所得控除の対象となります。
- **領収証**：領収証が必要な場合は、別途、日本社会福祉士会にご連絡ください。

公益社団法人 日本社会福祉士会



一般社団法人 兵庫県社会福祉士会
このとり通信 No.128

2026 Autumn

発行：一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 広報委員会
住所：〒651-0062 神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター 3階
電話：078 (265) 1330
Fax：078 (265) 1340
印刷：小野高速印刷株式会社